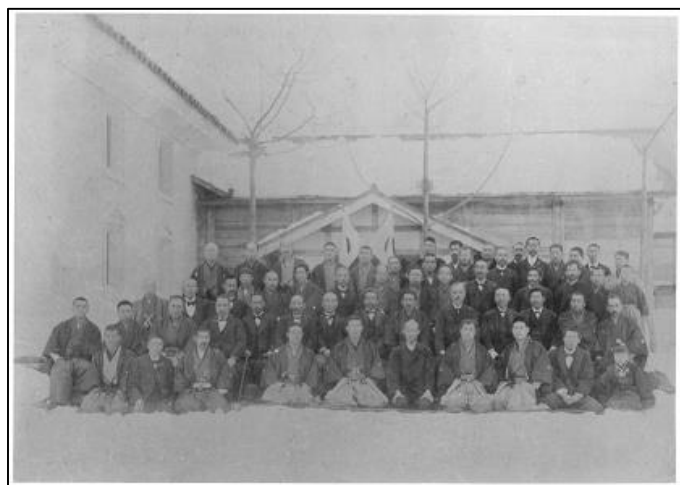


会津図書館は開館120年を迎えました！

Aizu Library 120th anniversary



【開館式での集合写真】

【待望の開館】

明治36年(1903)7月、会津図書館は日本で第1号の市立図書館として文部省より認可されました。(若松市栄町210~212番地)翌37年(1904)2月11日の紀元節(現・建国記念日)に開館式を行い、1週間後の2月18日一般への閲覧が開始されました。図書館の敷地は204坪、木造平屋の本館、12坪の閲覧室、6坪の事務室などと、土蔵2階建の書庫からなっていました。蔵書数は4,039冊、新聞は10種類、雑誌は17種類ありました。

【明治・大正期・戦前の会津図書館】

現在、図書館の利用は無料ですが、当時は閲覧料、館外貸出料を取っていました。閲覧料は1回1銭(回数券は10回分8銭)でした。昭和22年(1947)7月進駐軍の命令により閲覧料徴収の廃止が決まり、翌23年(1948)1月20日徴収が終了しました。

開館時間は午前8時から午後4時まで、盛夏中は午後2時や午後3時に終了することもありました。また、大正8年(1919)から大正14年(1925)まで冬季夜間開館を実施しました。年度によって多少違いはありますが、1月から3月まで、午後6時から午後9時まで開館していました。



【2階が増築された会津図書館】

【戦後の会津図書館】

昭和21年(1946)4月、図書館は会津物産館(旧物産陳列館)跡に移転しました。(会津若松市栄町231番地。後に栄町3番44号に改める。)建物の1階は閲覧室と書庫、事務室などがありました。2階は講堂、研究室、会議室、郷土博物館等を備え、研究室には継続的な調査、郷土史の研究者のため専任の職員を配置していました。郷土博物館には美術品、植物・昆虫標本、軸物などを収集展示していました。

昭和31年(1956)には事務室を分割し独立の部屋として児童室「母と子のへや」が作られ、約1,100冊を開架していました。



【旧物産陳列館に移転後の会津図書館】



◆初代のあいづね号◆



◆現在(第5代)のあいづね号◆

赤べこをイメージした赤を基調とし、側面には磐梯山と本を読む野口英世の絵が描かれています。

【移動図書館 あいづね号】

移動図書館のはじまりは昭和27年(1952)10月25日、読書週間行事として運行したもので、翌28年(1953)からジープを使って定期運行を開始しました。

さらに昭和30年(1955)周辺町村との合併が成立、市域が広くなり移動図書館の活躍の場が広がるとともに、農村部を中心に利用も増えていきました。昭和37年(1962)4月東北地方の市立図書館としては第1号となる移動図書館専用車を導入しました。名称は市民から公募され、万葉集巻14東歌の中の「会津嶺(あいづね)の国をさ遠み逢はなはば偲びにせもと紐結ばさね」から「あいづね」と命名しました。

車はマツダ製マイクロバスを改造したもので800~1,000冊積載されました。全16コース111ステーションを週4日運行し、ひと月で全コースを巡回しました。

現在(第5代目)のあいづね号は、平成24年(2012)6月より運行を開始しました。車内には約3,000冊の本を積載し、車イスにも対応した電動式昇降リフトを備えています。

【新図書館の建設、そして會津稽古堂へ】

昭和39年(1964)7月会津図書館建設促進会が結成され、城東町の旧会津母子寮跡へ明治百年記念事業として新築移転が決定しました(会津若松市城東町2番3号)。

起工式は昭和43年(1968)9月7日、翌44年(1969)7月7日待望の開館式を迎えました。当時、市立図書館としては東北一の規模でした。1階は新聞雑誌などのブラウジングルーム、児童室、事務室等があり、2階は一般及び学生閲覧室、約1万冊の開架図書がありました。書庫は5層式で最大収容冊数13万冊を想定していました。

平成16年(2004)開館100周年を迎え、会津若松市文化センターで開館百周年記念式典及び記念資料展を開催し、記念誌と郷土資料目録を刊行しました。

平成22年(2010)10月31日生涯学習総合センターへ新築移転に伴い、閉館セレモニーを開催しました。

平成23年(2011)4月17日会津若松市生涯学習総合センター(会津若松市栄町3番50号)2階に新館がオープンしました。ワンフロアに絵本・児童書が並ぶこどもとしょかん、中高生向けのティーンズコーナー、一般図書フロアがあり、ICタグに対応した図書館システムを導入、自動貸出機、ICゲートを設置しました。エレベーター、多目的トイレもあり、車イス・ベビーカーの方でも利用できるユニバーサルデザインに配慮した施設です。



◆城東町に建てられた図書館◆



◆会津若松市生涯学習総合センター◆

愛称は「會津稽古堂」。1階は多目的ホール、市民ギャラリー、健康・音楽・美術工芸・クッキングの各スタジオ、2階は図書館フロア、中2階に書庫、3階は研修室、和室、茶室があり、公民館と図書館の機能を併せ持つ生涯学習のための複合施設です。